

全国から開通情報

【東北支部】
国道6号 久之浜バイパス
全線開通



▲久之浜バイパス 古内橋

平成29年2月26日に国道6号久之浜バイパスの福島県いわき市四倉町〜久之浜(延長3・7km)が完成しました。これにより久之浜バイパス(総延長6・0km)が全線開通となりました。同バイパスは国道6号の急カーブ区間を回避でき、津波など災害時の避難道路、渋滞の緩和、救急搬送の迅速化などが期待されます。

久之浜での開通式には福島県や近隣自治体の首長ら約200人が出席し、地元幼稚園児によるダンス披露や関係者によるテープカットとくす玉開披で開通を祝いました。

三陸自動車道
南三陸道路 志津川IC

南三陸海岸IC 開通

平成29年3月20日に三陸自動車道南三陸道路の志津川IC〜南三陸海岸IC(延長3・0km)が開通しました。南三陸海岸ICでの開通式では、宮城県や近隣自治体の首長らによるテープカットが行われました。

東北中央自動車道

阿武隈東道路 相馬山上IC

相馬玉野IC 開通

平成29年3月26日に東北中央自動車道阿武隈東道路の相馬山上IC〜相馬玉野IC(延長10・5km)が開通しました。「相馬福島道路(総延長45・7km)」としては初めての開通区間です。



▲阿武隈東道路 西樽這橋

【関東支部】
首都圏中央連絡自動車道(圏央道)
境古河IC〜つくば中央IC 開通

平成29年2月26日に圏央道茨城県区間の境古河IC〜つくば中央IC(延長28・5km)が暫定2車線で開通しました。これにより圏央道(総延長約300km)の9割が完成し、成田空港から関東各地へのアクセスが向上しました。

常総ICでの開通式には当日は地域住民を中心に約1200人が参加しました。大勢の人々が小旗を振る中、石井啓一国土交通大臣をはじめ近隣自治体の首長によりテープカットが行われ、今回の開通を盛大に祝いました。石井大臣は「この開通を機に観光客が大幅に増える」と述べ、

また橋本昌茨城県知事も「製造や物流など多くの産業の追い風となる」と開通効果に期待を寄せました。



▲圏央道 通り初め (茨城県 提供)

中部横断自動車道

六郷IC〜増穂IC 開通

平成29年3月19日に中部横断自動車道の六郷IC〜増穂IC(延長9・3km)が開通しました。今回の開通で営業区間が総延長25・3kmとなり、山梨県南部からのアクセスが向上しました。

富士川本線料金所付近で行われた開通記念イベントには近隣自治体の首長など約200人が参加しました。テープカットとくす玉開披の後、渡り初めを行ってこの区間開通を祝いました。

国道17号 上武道路 全線開通

平成29年3月19日に国道17号バイパス 上武道路の前橋赤城線と田口町南交差点(延長3.5km)が完成し、埼玉県熊谷市と群馬県前橋市を結ぶ上武道路(総延長40.5km)が全線開通しました。田口町付近での開通式では和太鼓演奏やテープカットが行われました。

【中部支部】 岐阜県道井尻八百津線 新小和沢橋(仮称) 橋梁連結式

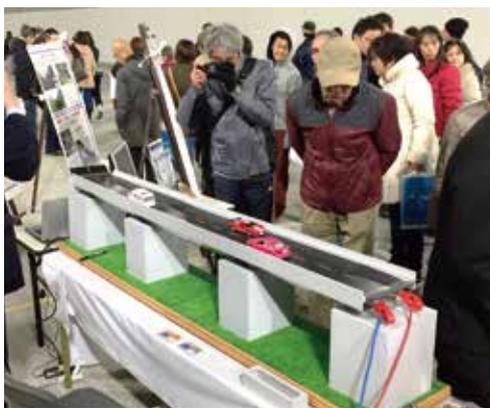


▲ 岐阜県道井尻八百津線 新小和沢橋 連結式

岐阜県木曾川の新丸山ダム建設の一環で進んでいる岐阜県道井尻八百津線で、平成29年2月16日に新しい橋梁の連結式が開催されました。

「新小和沢橋(仮称)」での式典には近隣自治体の首長ら20人余りが出席しました。コンクリートを流し込む『連結の儀』などが催されました。

【関西支部】 阪神高速6号 大和川線 三宝JCTと鉄砲ランプ 開通



▲ 阪神高速6号 開通記念イベントブース(PC建協)

平成29年1月28日に阪神高速6号大和川線の三宝JCTと鉄砲ランプ(延長1.4km)が開通しました。これにより堺市北部地域の交通分散が期待されます。

この開通に先だつて21日には記念イベント「大和川クォーターマラソン&ハイウェイウォーク」が開催されました。PC建協は事業紹介ブースを出展し、周辺住民にPC技術やPC構造物をPRしました。

京奈和自動車道 岩出根来ICと和歌山JCT 開通



▲ 京奈和道路和歌山JCT全景

平成29年3月18日に京奈和自動車道の岩出根来ICと和歌山JCT(延長6.5km)が開通しました。これにより和歌山県内の紀北西道路(延長12.2km)の全線開通となり、また阪和自動車道とも接続することで大規模災害時の緊急輸送道路としての役割が期待されます。

岩出根来ICでの開通式には近隣自治体の首長が出席し、開通記念イベントのウォーキングイベントには多くの地域住民が参加しました。

北近畿豊岡自動車道 日高神鍋高原IC

八鹿氷ノ山IC 開通

平成29年3月25日に北近畿豊岡自

動車道日高神鍋高原ICと八鹿氷ノ山IC(延長9.7km)が開通しました。これにより大阪市内から城崎温泉まで約10分短縮されました。この開通に先だつて19日には記念イベントとして物産展や神楽舞の披露などが行われました。

【中国支部】 水島港臨港道路 倉敷みなと大橋 開通

平成29年3月25日に岡山県水島港臨港道路の倉敷みなと大橋が開通しました。同橋は延長約2.6kmと県内最長で高梁川河口を挟んで倉敷市の水島コンビナートと物流拠点の玉島ハーバーアイランドを結ぶ架橋です。開通式には近隣自治体の首長など関係者が出席し、新しい物流ルートの開通を祝いました。



▲ 水島港臨港道路 倉敷みなと大橋開通式

平成29年度の本部主催の意見交換会テーマ決まる

PC建協本部では、平成29年度の各地方整備局等との意見交換会について、基本となるテーマを次のとおり決定しました。なお、意見交換会は7月から10月にかけて開催される予定です。

① 担い手確保の推進

- ・年度工事量の安定的確保
- ・完全週休2日のモデル工事促進
- ・適正な工期設定および工期を延伸する場合の配置技術者の拘束緩和
- ・若手および女性の活用を促進する入札制度の提案

② 生産性向上の推進

- ・プレキャスト化の推進
- ・ICT技術の活用

③ インフラ長寿命化への対応

- ・高度技術を要するPC橋や緊急性を要するPC橋の維持保全工事における技術提案・交渉方式の試行工事の発注
- ・PC橋の維持保全事業における地方自治体への支援

PC技術専門家を派遣

PC建協では、多くの学生にPC構造に興味を持ってもらうことを目的にPC技術専門家を派遣しています。

【関西支部】



▲ 盛況だった大阪工業大学での講義

平成29年1月19日に大阪工業大学で工学部都市デザイン工学科の学生70人に「プレレストレストコンクリート技術の紹介」をテーマに講義を行いました。講義ではPC技術の歴史、原理・概要、構造や架設工法、構造物などについて写真や資料を使って説明を行いました。

(その他)

- ・1月24日 大阪産業大学
- ・1月30日 舞鶴工業高等専門学校
- ・2月6日 明石工業高等専門学校
- ・2月7日 神戸大学

【北陸支部】



▲ 熱心に聴講する新潟大学の学生たち

平成29年2月6日に新潟大学で工学部建設学科の学生24人に「PC橋についてー土木の中の橋屋、そして技術者ー」と題した講義を行いました。講義ではPC技術の概要に加え、社会インフラで役立っているPC構造物の紹介や、橋梁工学の内容と専攻した技術者の仕事について解説しました。

【関東支部】



▲ 教材を使った実演に興味津々

平成29年2月7日に群馬工業高等専門学校で環境都市工学科の学生38人に講義を行いました。教室での講義でPCの概要などを説明した後、屋外で教材を使ってPC鋼材の緊張についての実演を行いました。

そのほか平成29年1月以降に実施されたPC技術専門家の派遣講義は次の通りです。

【北海道支部】

- ・1月23日 北海道大学
- ・2月3日 北見工業大学

各地でPC技術講習会開催

PC技術に関する講習会が各地で開催され、講師を派遣しました。

【北海道支部】



▲ 橋梁担当者会議・勉強会の様子



▲ 沖縄での技術講習会の様子

平成29年1月19日に北海道札幌市で行われた「橋梁担当者会議・勉強会」で北海道開発局の職員約30人を対象にプレキャスト技術の活用に関する講習を行いました。内容はPC橋におけるプレキャスト技術、プレキャストセグメント工法による事例、PCコンポ橋の設計・施工に関する基礎知識などの紹介でした。

【九州支部】

平成29年2月7日に沖縄県那覇市で行われた「過酷な塩害環境下の橋梁長寿命化に関する技術講習会（主催：土木学会西部支部沖縄会）」で、「コンクリート橋の塩害対策技術」について講習会を行いました。定員は200人で今回は行政や建設業の関係者が参加しました。

そのほか平成29年1月以降に実施した講習会は次の通りです。

【中部支部】

・2月10日 三重県土木整備部

PCの原理・特徴、PC橋の架設・発注時の留意点

【北陸支部】

・3月3日 福井県

PC構造物の維持・保全

現場見学会開催

PC建協支部が主催する現場見学会が各地で開催されました。

【九州支部】

平成29年1月29日に福岡県粕屋町の「県道筑紫野古賀線新大間池橋（仮称）」で地域の大隈区自治会会員20人を対象に橋梁上部工工事の現場見学会を行いました。本橋は橋長175m、幅員15・3～18・3mのPC3径間連続箱桁橋です（押出し架設工法／ピース三菱）。当日は動画を交えての工法説明後に現場を見学して最後に橋梁の写真パネルの展示を見学してもらいました。

また平成29年2月25日には沖縄県那覇市の「沖縄都市モノレール建設工事（PC軌道桁製作場）」で近隣の城北小学校剣道クラブに所属する児童25人とその保護者15人の計40人を



▲ 新大間池橋を現場見学した皆さん



▲ PC軌道桁の製作現場を見学する児童たち

後、PC軌道桁の製造現場と延長整備が進む工事現場を見学しました。鋼製型枠やモールド支柱などを初めて見た児童たちはその大きさに驚いて歓声をあげていました。

【関東支部】

平成29年3月2日に群馬工業高等専門学校の学生を対象に群馬県渋川市の「上信自動車道金井バイパス金井陸橋上部工事現場」と「日本高圧コンクリート埼玉工場」の見学会を実施しました。本橋は橋長129・5m、支間39・7+55・0+32・0m、有効幅員10・55mのPC3径間連続箱桁橋です（固定支保工／ピース三菱・田子林業特定JV）。見学会では、学生からPCの構造に関して多くの質問が出され活発な質疑応答が行われました。



▲ 工事概要の説明を受ける学生たち

平成28年度高校生「橋梁模型」作品発表会

平成29年2月15日に仙台市青葉区のせんだいメディアアテックで「第15回高校生『橋梁模型』作品発表会」が行われました。今回のテーマは「東北に実在する橋」で、東北6県の17校から32点の応募がありました。当日はその中から10点の入賞作品が展示され、審査員と一般来場者の投票による最終審査が行われました。結果は秋田県立大館桂桜高等学校の「青岩橋」が最優秀賞と新設の「東北の橋梁賞」をダブル受賞。また優秀賞には福島県立平工業高等学校の「城ヶ倉大橋」と青森県立青森工業高等学校の「東福寺通天橋」が選ばれました。

PC建協東北支部では初年度から本発表会の実行委員会の一員として共催しています。



▲ 最優秀賞・東北の橋梁賞作品の「青岩橋」

女性チームによる安全衛生パトロール実施

平成29年2月8日に宮城県南三陸町の「南三陸道路立沢川橋(仮称)上部工事現場」で「安全衛生パトロール」を実施しました。このパトロールは会員各社の女性社員6人によるものです。東北支部が女性パトロール隊を編成したのは今回が初めてです。

本橋は橋長165・0m、幅員12・7mのPC3径間連続ラーメン箱桁橋です(片持架設/南地区・安部日鋼工業・北地区・オリエンタル白石)。現場では安全設備の点検と事務所やトイレなどの衛生状況をチェックしました。

東北支部では平成29年度以降も女性チームの安全衛生パトロールを継続する予定です。



▲ 東北支部初の女性パトロール隊

平成29年度各種講習会日程

第25回プレストレストコンクリート建築技術講習会(PC建協主催)

〔題目〕

- ① GLP 鳴尾浜プロジェクト
BIMによるPCaPC免震マルチテナント型物流施設の開発
- ② 高知城歴史博物館
城+船+風土 PCaPCを使い高知らしさを表現した博物館
- ③ 南相馬市立総合病院脳卒中センター
ドライブジョイントとしたPCaPC細柱梁外殻架構を有する病院
- ④ 愛知総合工科高等学校
「見える化」によるスケルトンフレームの学校

〔開催日・会場〕

平成29年6月23日(金)13時~17時
(メイン会場) 建築会館大ホール
(サブ会場) ネット中継
AP大阪梅田茶屋町

※2会場を結んでのネット中継は初めて。

第45回プレストレストコンクリート技術講習会(PC工学会主催)

〔テーマ〕

生産性向上と維持管理・更新の時代に求められるPC技術

〔題目〕

- ① 道路橋のメンテナンス技術の高度化
- ② プレストレストコンクリート建築へのプレキャスト部材の活用
- ③ 高速道路の取組み
- ④ PC橋の維持管理の規準に関するPC工学会の取組み
- ⑤ i-Bridge - PC構造物の建設・維持管理における生産性向上の取組み
- ⑥ 海外の話題

〔開催日・会場〕

開催日	会場
6月 2日(金)	東京・江東区文化センター
6月 8日(木)	大阪・朝日生命ホール
6月13日(火)	高松・ホテルパールガーデン
6月14日(水)	広島・広島市西区民文化センター
6月16日(金)	札幌・ホテル札幌ガーデンパレス
6月21日(水)	名古屋・ウイングあいち
6月23日(金)	新潟・新潟県自治会館
6月27日(火)	福岡・福岡国際会議場
6月30日(金)	仙台・イズミティ21

第7回PC工事技能実習

(PC工業協会主催)

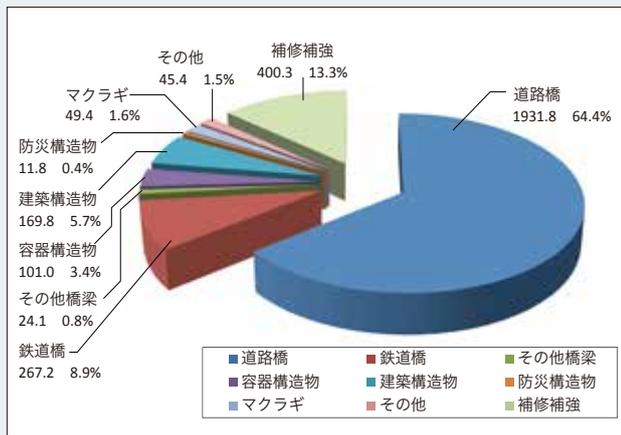
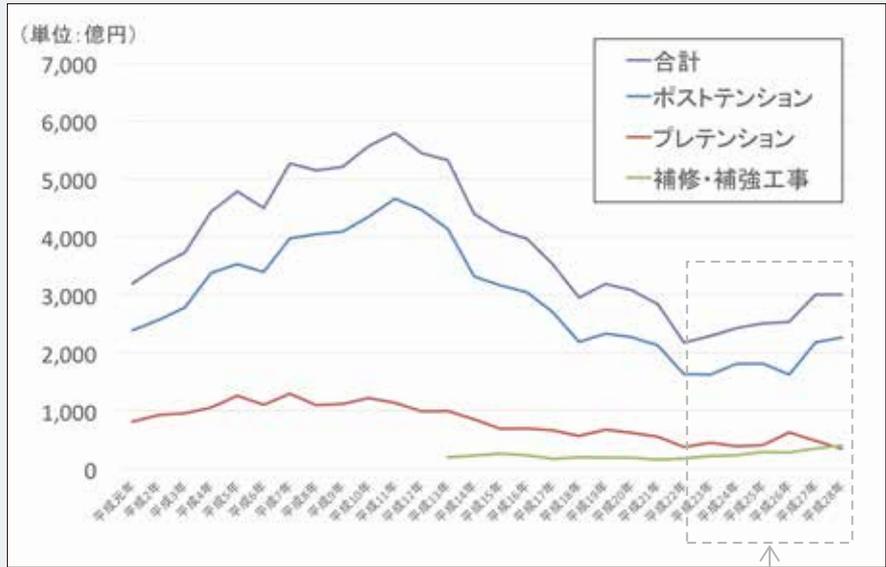
〔開催日・会場〕

平成29年10月17日(火)~20日(金)
富士教育訓練センター

PC統計(受注実績)

平成28年度のPC建協会員の受注額は、3,001億円と昨年度とほぼ同水準で、2期連続しての3,000億円超えとなりました。

用途別では、道路橋が2,288億円(前年度2,288億円)、鉄道橋が269億円(前年度165億円)となりました。道路橋の内訳は、新設工事が1,932億円(前年度2,052億円)、補修・補強工事が356億円(前年度236億円)となりました。



平成28年度用途別受注実績



年度別受注推移

編集委員会

上野 進一郎(編集委員長)、 樫福 浄(編集副委員長)、
鈴木 裕二、 吉山 誠之、 竹本 伸一、 的場 純一、 深谷 浩史、
松嶋 憲昭、 高松 正伸、 石井 一生(特別顧問)

編集幹事会

久我 誠志(幹事長)、 小谷 仁(副幹事長)、 荒畑 智志(副幹事長)、
白石 紀之、 俵 綾子、 南 浩郎、 三本 竜彦、 木下 拓三、 菅野 隆、
太田 誠、 清水 郁子、 上田 孝明、 寒川 勝彦、 岩崎 麻美、 小田切 隆幸

編集後記

天草に取材に行ってきました。天草への入り口となる天草五橋には、今でも時折会社に足を運んでくださる大先輩が現場で奮闘された橋梁もあり、いつかは訪れてみたいと思っていた場所のひとつです。2月初旬の2日間にわたる取材当日は、残念ながら陽射しに恵まれず、2日目には雪もちらつく寒さ。それでも、島々とそれをとり囲む海、潜伏キリシタンの歴史や文化など、人を惹きつける独特の雰囲気を感じることが出来ました。取材では、天草五橋以外にも島内に点在する多くの橋梁を視察しましたが、いつか天草を再訪する機会に恵まれた時には、少し目線を下げ、天草の海をゆっくりと満喫したいと思います。

このたび策定した「新ビジョン2017」は、昨今の社会的要請に応えるためのPC建協の新たな活動指針であると同時に、PC建協の活動を広く社会にご理解いただきたいとの思いをこめて取り纏めています。紙面の都合で詳細な紹介はできませんでしたが、10ページに記したリンク先に全文を掲載しています。お時間のある時にご覧頂けると幸いです。

最後に、編集幹事が4名(手賀幹事長、廣部副幹事長、西永幹事、浦川幹事)交代しました。創刊当時から幹事、今号の編集を担当した幹事もいらっしやいます。長い間、本当にお疲れ様でした。(南)